

令和4年度 多摩市立連光寺小学校 学校評価書

学校教育目標	
◎ 考えてやりぬく子 ○ 明るく思いやりのある子 ○ たくましくじょうぶな子	
目指す学校像(学校経営ビジョン)	
(1)児童が「もっと伸びたい」と実感できる学校 (2)保護者・地域の方にとって、安全・安心で信頼できる学校 (3)教職員にとって、やりがいをもって協働できる学校	
目指す子供像	目指す教師像
(1)主体的に学びに向かい、学んだ知識を持続可能な社会づくりに生かし、SDGsの達成を実感する児童 (2)思いやりと社会性を持ち、実践できる児童 (3)自己防衛力を持ち、心身の健康増進に努める児童	(1)SDGs達成に向けた児童の人材育成を図る教師 (2)児童理解を基に、家庭や地域と連携して、誰もが生き生きと生活する社会の実現を図る教師 (3)困難に立ち向かい、児童に克服させていく教師

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

(1)確かな学力の育成

重点目標	① 学びに向かう学習意欲の向上 ② 基礎学力の定着と学力向上の達成感の醸成 ③ 読書指導の充実を基にした言語能力の向上 ④ ESDを用いたSDGsの達成を実現する人材育成			
評価項目 (目標とする成果・指標%)	自己評価		学校関係者評価	
	評語	現状の分析と改善策	評語	学校運営連絡協議会委員の意見
交換授業、自主学習、外部指導者活用、学習の振り返り、情報教育による学習意欲向上	4	すべて実施。特に自主学習は進化・定着した。継続させていくことで、教育効果を引き出す。	A	・自主学習は保護者も一緒に取り組めてよい。学童でも自主学習への要求が見られる。継続させたい。 ・子供たちが自分で考えられる学習を進められることは素晴らしいと思う。 ・読書は思考に繋がるので継続して取り組んでほしい。 ・SDGsは自分の行動について考える機会を与えてくれる。推進してほしい。
学力分析に基づく指導内容の共有・実践と、「もっと伸びたい」実感 児童評価90%	3	児童評価80.1%。教員評価は90.0%で手ごたえを感じている。基礎学習の繰り返しを徹底。	B	
読書指導の推進と言語能力の向上	2	各学年図書を10~31時間設定し実施。教員評価は10%向上。保護者・児童評価は70%。継続。	B	
SDGs達成に資する教育実践と児童の自己有用感の向上 教員評価90%	3	校内研究でMySDGsを実践。自己有用感の向上までは至っていない。教員評価80%。	B	
評価のまとめ	・交換授業、自主学習、豊富な外部指導者、読書の時間増、SDGsの視点等、本校独自の取り組みは実践できた。継続して取り組むことでより成果を上げたい。 ・自主学習は全学年で定着し、6年生では進化も見られた。全学年、毎日自主学習のスタイル、自ら学ぶ姿勢を目指したい。 ・SDGsを意識させることでの自己有用感をもたせるまでには至らなかったため、次年度も校内研究のテーマとして継続し、実践を重ねていく。			

【評語について】

自己評価			学校関係者評価	
評語	達成状況	成果指標	評語	自己評価の適切さ
4	申し分なく達成した	90%以上~100%	A	適切である
3	おおむね達成した	70%以上~90%未満	B	おおむね適切である
2	やや下回った	40%以上~70%未満	C	適切でない
1	大きく下回った	40%未満	D	評価は困難である

(2)豊かな心の育成

重点目標	① 基本的生活習慣の確立 ② 優しさのある言動の醸成 ③ 道徳科の授業力向上と人権意識の向上、いじめの防止			
評価項目 (目標とする成果・指標 %)	自己評価		学校関係者評価	
	評語	現状の分析と改善策	評語	学校運営連絡協議会委員の意見
あいさつ、言葉遣い、廊下歩行、登下校の規律の徹底 教員評価80%	2	教員評価55%。保護者と乖離。保護者会で話題とする。登下校は規律がよくなった。	B	・地域の中で大人が率先していく姿を見せることで子供たちのあいさつも積極的にしたい。 ・飼育動物は学童の時間も関わっており、有益である。アニマルセラピーは続けてほしい。 ・道徳は心の問題にも触れるので、扱うのが難しいと思う。全体の風通しが良いと進めやすいと思うので、研修も進めるとよい。
優しさのある立ち振る舞いの育成 教員・保護者評価90%	4	飼育動物を通しての効果あり。教員評価100%。保護者評価96%。	B	
「考え、議論する道徳」の指導の徹底と人権尊重意識向上、いじめ防止 児童評価85%	3	道徳授業力は研鑽が必要。人権意識、いじめ防止は取り組めた。社会通念上のいじめは0。児童評価91%。	B	
評価のまとめ	・あいさつ、言葉遣い、登下校の規律については一定の向上が見られるが、廊下歩行については一丸の対応が継続して必要である。 ・優しさのある行動の育成については、飼育動物とのふれあいをできるようにしたことが効果を上げている。継続し、引き継いでいく体制を整える。 ・道徳の授業力向上をより図るため、教員の授業講座を次年度実施する。			

(3)健やかな体の育成

重点目標	① 危機管理能力の向上と自己防衛力の育成 ② 心と体の健康指導の充実 ③ オリパラ教育の継承と、学校2020レガシーの充実			
評価項目 (目標とする成果・指標 %)	自己評価		学校関係者評価	
	評語	現状の分析と改善策	評語	学校運営連絡協議会委員の意見
不審者、交通事故、スマホ・ゲーム依存、いじめ防止等の自己防衛力を高める教育活動の推進 保護者評価90%	3	講習会、講話、学校便り、保護者会、HP等で啓発を行った。講習会は次年度も実施。保護者評価94.6%。	B	・ゲーム依存が不安である。 ・くじけない心の育成は、不登校対策にもつながっていくとよい。 ・オリパラ教育で外部講師からの学びは、子供たちの記憶に残ったよい活動であった。継続させたい。 ・ごみ拾いは素晴らしい取り組み。ボランティアによる自己実現が望ましい。今後もぜひ続けてほしい。
心身の調和がとれた、行事に取り組む姿勢の強化とフィードバックによるくじけない心の育成 児童評価90%	3	運動会、宿泊行事、展覧会、生活総合発表会等で最後までやり抜く活動ができた。児童評価78%。	B	
オリパラ教育の継承によるボランティア・マインドの醸成と、学校2020レガシーの環境保全活動の実践と充実	4	登校時のごみ拾いを10月から毎日継続。HPに掲載。環境保全活動は総合の学習を通じて、川、里山、エネルギーで実施。	A	
評価のまとめ	・スマートフォンを介したトラブルは生じている。児童が所持するスマートフォンの中身の確認を家庭へお願いするとともに、保護者会でも話題とする。 ・次年度のセーフティ教室で、全学年ネットモラルの授業を実施する予定。 ・不審者、交通事故については、引き続き重きを置いて啓発を続けていく。 ・くじけない心、ボランティアマインドは、今後も授業や行事、特別活動の中で複数の舞台を用意して実践を促すとともに、様子を積極的に周知していく。			

(4) 家庭や地域との連携

重点目標	① 徹底した情報公開による教育活動への協力 ② 新しい時代に向けたPTA活動 ③ 学校地域協働本部による活動		
評価項目	自己評価		学校関係者評価
	評語	現状の分析と改善策	評語 学校運営連絡協議会委員の意見
学校便り、HP、配信メールを活用した徹底した情報共有による教育活動への理解・協働 保護者評価 90%	4	学校便り、HPともに反響が大きい。情報共有は順調。保護者評価 95.8%。「全く思わない」は0%。	A ・HP は良く見ている。情報発信が良い。問題点もきちんと発信すべき。 ・PTA 加入が自由となり、加入拒否   割、無回答   割は寂しい。 ・学校と PTA の連携がうまくいって努力している。
新しい時代に向けたPTAの組織改革と周知・理解・実践 学校運営協議会評価 90%	4	PTA の自由加入実施。加入率は8割。活動内容の精選とデジタル化も推進した。	B ・放課後子供教室は、これまでの伝統を引き継いで移行してほしい。
学校地域協働本部と協働した放課後子ども教室、地域未来塾の実施	4	双方とも実施。放課後子供教室は、次年度外部委託化モデル校として実施。地域未来塾は世代交代も進んだ。	A
評価のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育活動の地域・家庭への情報共有はよい効果をもたらしている。先んじた情報発信を今後も遂行していくとともに、問題提起も行う。</li> <li>・PTAと学校は互いに情報交換、相談し合って円滑に活動を進めることができた。</li> <li>・放課後子供教室は、10月から委託する外部団体と打ち合わせを行ってソフトランディングを計画している。</li> </ul>		

2 次年度に向けた学校経営の方向性、課題等

<p><b>【考えてやりぬく子の育成】</b>          ・自主学习、交換授業、外部指導者、ICT機器の活用(e-ポートフォリオ)等を継続し積み重ねることで、児童の学習意欲の向上を図りながら、児童の基礎的学力と応用力をさらに向上させる。特に総合的な学習においては、ESDの手法で進める学習内容とSDGsの関わりを一人一人が明確にし、地球の未来に資する学びであるというメタ認知と自己有用感をもてるよう、学習活動を進める。          ・読書の取り組みは継続し、次年度も図書時間を確保する。読書が好きな子を増やす施策を進めていく。</p> <p><b>【明るく思いやりのある子の育成】</b>          ・道徳授業について、授業力向上をねらい教員の校内研修会を実施する。授業から、一人一人の価値観を醸成し、人権尊重を基盤とした優しさと逞しさを育成していく。          ・飼育動物の教育的効果が大きいことから、児童が動物と触れ合う機会を計画的に設けるとともに、ご家庭・地域にも効果を周知し協力を求めていく。</p> <p><b>【たくましくじょうぶな子の育成】</b>          ・不審者、交通事故、スマホ・ゲーム依存、いじめ防止等の自己防衛力の向上は、引き続きあらゆる手立てを用いて啓発、育成していく。          ・本校児童はボランティアマインドと親和性が高い。ごみ拾いに代表されるその姿勢をさらに育て、地域に貢献する実践と、自己有用感を実感させるための活動を意図的に進めていく。</p>
---

以上のとおり報告いたします。

令和5年2月22日

多摩市立連光寺小学校 校長 関口 寿也

公印

# 令和4年度 学校評価書



## 多摩市立連光寺小学校

